

成城大学 2025 年度 全学部統一選抜 (S 方式)

2 月 2 日 : 英語

■解答例

I

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
c	a	d	d	c	c	b	a	b	a	d	a

II

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
e	d	a	c	d	a	d	e	b	c

III

A

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
d	d	c	b	a	e	c	d	d	d	b	b

B

35	36	37
e	c	b

C

38	39	40	41	42
d	e	b	a	c

IV

43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
b	c	c	d	d	c	e	b	d	c	a	c

■出題意図

問題番号	出題の意図
I	長文読解問題。ベンジャミン・フランクリンの遺産を受けたボストンとフィラデルフィアが、それをどのように活用したのかを時系列に沿って述べた文章を用いて、下線部の内容を正確に把握できているかを問う正誤問題や、前後の文脈から文意を理解する力を問う問題である。長文を集中して最後まで読み通す力が求められる。
II	長文の空所補充問題と下線部の意味を尋ねる問題。空欄に入る語句や、下線部と同じような意味の語句を選ぶことで、長文の内容と論点を正確に読解できているか、またそこで使われている語句を理解しているかを問う問題である。
III	標準的な英語の語彙や文法の理解力を問う問題。Aは文法の空所補充問題で、文法的に正しい英語を理解しているかを問う。Bは会話文中の下線部に対応する質問文を選ぶことで、Cは文章中の下線部から文法的に正しくない語句を選ぶことで、文意の把握とともに文法や構文の理解を問う問題である。
IV	段落の空所補充問題。空所になっている節を、与えられた語を使って正しく並べられるかによって段落の内容を的確に把握し、文法的に正しい節が作れるかをみる。段落の最後の空所に入るセンテンスを問う問題では、段落の内容のみならず、論の展開をきちんと理解しているかをみることを目的としている。